

事業名：除排雪事業

雪対策課 雪対策係

政策	04 安全で快適な都市生活の充実							
施策	02 交通環境の充実							
基本事業	02 克雪による道路環境の整備							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市道	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市が指定する路線等について、10cm以上の降雪や地吹雪があった場合、朝7時までに歩車道の除雪作業が完了するよう委託業者の除雪車が出動します。また、市の指定する路線について2車線確保が困難な場合や、交差点の見とおし等が悪い場合運搬排雪を実施します。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市民の冬期間における道路交通の確保を図り、行政と住民の連携により快適な住環境をつくる。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市道総延長	km	830	831	827	831
対象指標2						
活動指標1	除雪延長	km	726	726	727	727
活動指標2	排雪延長	km	124	124	123	123
成果指標1	降雪・吹雪による交通止めとなった箇所数	箇所	0	2	1	0
成果指標2						
事業費(A)		千円	776,977	814,098	766,206	740,275
正職員人件費(B)		千円	16,855	15,230	15,235	14,866
総事業費(A+B)		千円	793,832	829,328	781,441	755,141

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> 除排雪事業委託 農村地区除雪委託 雪捨場用地賃借 	<ul style="list-style-type: none"> 除排雪事業委託 685,355千円 農村地区除雪委託 67,974千円 雪捨場用地賃借 6,854千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
冬期間の交通確保のため実施されているが、生活道路も含めた排雪の充実が叫ばれている。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
	道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つように維持し、一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない（道路法42条）
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
	冬期間の交通確保に大きく寄与する。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
	自治会排雪の充実により、生活道路の雪害が減少している。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
	自治会排雪の区域拡大及び除排雪の充実により成果が向上する。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
	これまでも経費削減の工夫を積み重ねており、これ以上のコスト縮減は難しい。